

令和五年第十三回

世田谷区教育委員会定例会

(一日目)

時 令和五年七月二十四日

所 庁議室

午前十時開議

○渡部教育長 ただいまから令和五年第十三回世田谷区教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、傍聴の許可についてお諮りいたします。

教育委員会定例会は、世田谷区教育委員会傍聴規則第三条により、定員を十名と定めているところではございますが、現在二十九名の方から傍聴の申出があります。今回は席に余裕のある会場ですので、特例として残りの方についても傍聴を許可したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認めます。

それでは、ここで会場を一旦休憩とし、傍聴人の入室を許可します。

午前十時一分休憩

午後十時二分再開

○渡部教育長 再開します。

まず次第の1、令和五年第十二回定例会会議録の承認についてですが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認め、会議録を承認することといたします。

次第の2、本日の署名委員を指名させていただきました。澁澤委員と中村委員、どうぞよろしく願います。

本日一日目は、採択一件と事務局からの報告が一件ございます。

それでは、議事に入ります。

日程第一を上程いたします。

〔大野調整係長朗読〕

日程第一 採択第一号 令和六年度使用世田谷区立小学校教科用図書採択

○渡部教育長 それでは、採択第一号につきまして、小泉学校教育部長から説明をお願いいたします。

○小泉学校教育部長 本件は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づきまして、令和六年度に区立小学校で使用する教科用図書、教科書について各教科一種類選定、採択していただくものでございます。

この間の経緯を申し上げますと、五月十二日に開催されました第八回教育委員会定例会において教科書の採択に関する基本方針を御決定いただきました。その後、採択に関する要綱を定め、教科書の調査研究のための教科書調査研究委員会及び教科書検討委員会を設置いたしました。教科書調査研究委員会では、区立小・中学校の各教科の指導について専門性の高い校長、副校長、教員で構成し、各教科の教科書を調査研究の観点に基づき、内容や表現等について専門的に分析し、報告書として作成いただきました。また、教科書検討委員会では、区立小・中学校の校長、副校長等の代表、保護者や地域の方々の方に御参加いただき、調査研究委員会の報告書について御検討いただき、検討委員会の報告書として取りまとめたいただきました。この検討委員会の報告書は、前回、七月十一日に開催されました第十二回教育委員会定例会において、検討委員会代表から教育長に提出されたところでございます。今回は、検討委員会の報告書や教科書展示会等の取組を踏まえまして、世田谷区教育委員会といたしまして、令和六年度に世田谷区立小学校で使用する教科用図書の選定、採択をお願いするものでございます。

私からの説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○渡部教育長 ただいまの説明に対して、御質問、御意見がございましたら、どうぞ。

よろしいですか。

「「なし」の声あり」

○渡部教育長 それでは、各委員におかれましては、前回の定例会で教科書検討委員会より提出された報告書をお読みいただくとともに、各教科書について目を通していただいたところと存じます。それらを踏まえまして、令和六年度に使用する世田谷区立小学校教科用図書の採択を行います。

本日は、家庭、体育（保健）、社会・地図、外国語、理科、音楽の六教科七種類についてお諮りしたいと思います。これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、本日は、家庭、体育（保健）、社会・地図、外国語、理科、音楽の六教科七種類について採択することといたします。

次に、採択の方法ですが、教科ごとに御審議いただいた後、無記名による投票を行い、過半数の票を得た教科用図書を採択することとします。

なお、いずれの教科用図書も過半数に至らなかった場合には、獲得した票の有無や数にかかわらず、全ての教科用図書を対象に、再度、投票を行うこととします。

これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、令和六年度使用世田谷区立小学校教科用図書の採択については、教科種類ごと無記名投票によることといたします。

それでは、まず家庭に関する教科用図書について採択を行ってまいります。家庭は二社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

まずは順番に従いまして、澁澤委員、お願いします。

○澁澤委員 まず最初に、今回の採択に向けて、家庭だけではなくて全ての教科に対しての私の考えなのですが、前回の教科書選定から今回までの間に学習

指導要領の大きな変更はございませんでした。私自身としては、現場の教員、あるいは保護者、生徒にとっても、なるべく現行のものをベースとして今回の採択を考えていきたいと思っております。ただ、明らかにほかの教科書と差があるもの、あるいは、新しく教科書に応募された会社が出てきたものは、その都度、比較をしていきたいとも思っております。

その意味で、この二社を拝見いたしました。両社とも、とても丁寧につくられているというのが第一印象です。ただ、どちらかというと、ある程度経験ををお持ちの先生方が使いやすいだろうと思われる教科書と、若手の先生方が授業を進める上でやりやすいだろうというような、その差ぐらいの差だというふうに私は考えております。

私としては、家庭科に関しては、先ほども理由に述べましたが、これからも現行のものをそのまま使用したいと考えております。

○中村委員 私も家庭だけでなく全ての教科書を見させていただき、その中から選択する一つのポイントとして、幾つかの視点を考えました。

一つは、やはり何といっても児童の興味、関心を引きやすいもの、それから、児童の学びの過程が分かりやすい、また、児童が目安を持って学べるような構成になっているかどうか、それから、今現在、盛んに言われております問題解決的な学習、また探究的な学習に資する構成になっているかどうか。それから、やはり先生たちの使いやすさということも考慮したいと思っております。特別な配慮を要する児童・生徒に関するものについてはどの会社もそれなりに配慮されていると思いますので、その点を注意して選びたいと思っております。

家庭科に関しましては、各單元ごとに、活動すること、それから、そのステップ、最後に振り返りができるような構成が明確なものを選びたいと思っております。

○鈴木委員 今回の教科書採択につきまして、私は保護者の視点から見させていただきます。家庭学習としての使いやすさという点も考慮しております。

家庭科は衣食住と日常生活に直結するもので、自分の生活に照らし合わせて、学ぶ意義を実感できる教科と認識しています。日常生活が全ての活動の土台であることを確認することや、生活を営む力をつけることができる内容になっているかという点を見ていきました。実習がありますので、道具に触れるときの不安を解消し、安全に取り組めるように作業を分かりやすく掲載しているか、左利き、右利きへの配慮がなされているかを見てきましたが、それぞれ丁寧に扱われておりました。

子どもが学習の流れを確認しながら学習を進めることができるか、振り返りができるようになっているか、次のステップへつながるようになっていくか、中学校の学習内容への接続がなされているかという観点から選びたいと思います。

○坂倉委員 私も今回、全ての教科書に目を通させていただきました。各社とも非常に工夫がなされていて、どの教科書を選んでも間違いはないのだろうなという感想を、そのような中、選択するのは非常に難しい作業だったのですけれども、クラスでの対話、応用型の学習、探究を通じて学びを得る、そういった世田谷の教育の方針にふさわしいものを選定させていただきました。

家庭科につきましても非常に難しかったのですけれども、家庭科の場合、実際の教室の中で実習を通じて学び合うというプロセスが非常に大事ですし、一方、実際に児童が暮らしの中で学んだことを生かせるという意味では、きちんと暮らしの情報を振り返って使えるような部分も大事で、この両者のバランスを鑑みて選択させていただきました。

○渡部教育長 それでは最後に、私からですが、今回、全ての教科書に目を通していただきました。学習指導要領は変わらない中で、教科書採択二回目に

なりましたので、よく工夫されて、学びやすい教科書に全体的になってきたなと感じています。

それでは、家庭科ですが、家庭科の目標は、日常の中から生活をよりよくするために課題を見つけ、持続可能な社会の構築に向けて、実践的、体験的な活動を通して学ぶということです。

東京書籍は、家庭科の見方、考え方を「家庭科の窓」として、大題材のスタートで示して、見方、考え方を働かせながら取り組むという工夫がありました。

開隆堂では、四つ葉のクローバーに四つの視点が掲載されており、学習の途中でもクローバーが出てきて、それを示すという工夫がありました。

東京書籍では、主体的、対話的な学びにつながる活動を大変重視しており、子どもたちが自分たちで考え、試行錯誤しながら必要な力を身につける工夫がありました。

開隆堂では、分かりやすい写真やイラストの配置となっており、一目で理解できる工夫があり、職業から衣食住や環境問題などの理解ができるキャリアインタビューが掲載されています。

どちらの教科書も、多様な家族形態や役割が複数掲載されており、多様性を意識したつくりになっており、人権的な配慮がよく行き届いていると感じています。よりよい生活の実現に向けて、自らが主体となって、試行錯誤しながら進める意欲が湧くものを選びたいと思っています。

全員にお話しいただきましたが、ほかに御意見はよろしいですか。

「「なし」の声あり」

○渡部教育長 それでは、これより家庭に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、家庭に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 お待たせいたしました。これから家庭に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「新編 新しい家庭」 三票

開隆堂出版「わたしたちの家庭科」 二票

家庭に関する教科用図書は、過半数に達した東京書籍「新編 新しい家庭」を採択することに決定いたしました。

それでは、ここで教科書の入替れをさせていただきます。入替えをお願いいたします。

続いて、体育（保健）に関する教科用図書について採択を行ってまいります。体育（保健）は六社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 どの教科書もとても丁寧につくられているなという印象を持ちま

した。今回、大修館が新たにこの教科書に参加をされてきました。じっくり拝見をさせていただきましたが、大変うまくまとめられているなど。生徒たちに分かりやすく、単元の最後にこれからの生活で特に生かしたいことなどが的確にまとめられて、とても印象的でした。

また、東京書籍、大修館、多くの学校がそうなのですが、QRコード、二次元コードとリンクをさせて、そこから授業全体の理解を深く得ていくような取組が積極的にされて、今後、この教科が二次元コードを利用しながらの授業に変わっていく、新しい段階に入ったということを深く印象づけられました。その中から、現行のもの、それから新たに参画したものを対比しながら私のほうで判断をしていきたいと思っております。

○中村委員 冒頭にも申し上げたとおり、構成というものを特に重視して、課題が明確になっていて、それについて調べて、話合い、考え、まとめるという一連の流れが明確なものを選びたいと思います。

それから、小学校時代というのは、けがとか事故が非常に多い時期でもありますので、その事故防止というあたりの記載が充実しているものも一つの選択の目安としたいと思っております。

○鈴木委員 保健は、自分の心と体を知り、生涯を通じて健康で安全に幸せに生きることはどういうことなのかということを身につける教科と捉えています。

新型コロナ感染症に直面したことにより、改めて自分と家族、友達、周りの人たちの健康について関心が高まったと思います。みんなと考え、話したくなる内容になっているか、急速に変化する社会に対応できる力を身につけられる内容になっているかという点を見してきました。また、依存症の項目では、ネット依存症、薬物依存、アルコール依存は、それぞれ心身にどのような影響があるのか、対応の仕方、予防法など明記されているかを見させていただきました。

た。

授業時間が多くない教科ですから、短時間でも深い学びができる構成であることも含め、判断していきます。

○坂倉委員 どの教科書も非常に丁寧につくられていて、拮抗していたかと思えます。

私が大事にしたのは、それぞれの子どもの身近な悩みとか不安に寄り添って考えることができるかどうか、単に情報を与えるというのではなくて、当事者の気持ちに寄り添って読めるのか、そして、それらをクラスの中で、対話を通じて深めていける、そういうガイドに一番ふさわしい教科書を選ぶようにいたしました。

○渡部教育長 最後に、私からですが、前回の教科書にはまだコロナウイルス感染症のことは掲載されていませんでしたが、今回は、扱い方、量は違っていました、六社ともに、全ての教科書に掲載されていました。人類の感染症との戦いは続くと言われていきますので、大切にしていきたい内容だと思えます。

同じ単元で比べてみましたが、身近な生活を振り返ったり、これからの生活に生かしていくことを考えさせたり、健康な生活実践へ取り組む意欲を育ませる工夫があったりと、子どもの気づきを促し、解決に向けて進ませる工夫がそれぞれの教科書にありました。

今回の教科書では、心身の健康の保持、増進に主体的に取り組み、積極的に環境づくりに取り組めるものを選びたいと思っています。

それでは、これより体育（保健）に関する教科用図書の採択について採決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、体育（保健）に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考  
える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 それでは、指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちく  
ださい。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 お待たせいたしました。これから体育（保健）に関する教科用  
図書の投票結果を申し上げます。

大修館書店「新 小学校保健」 五票

体育（保健）に関する教科用図書は、過半数に達した大修館書店「新 小学  
校保健」を採択することに決定いたしました。

それでは、ここで教科書の入替えをさせていただきます。入替えをしてくだ  
さい。

続いて、社会に関する教科用図書について採択を行ってまいります。社会は  
三社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 私はふだん地域づくりですとか、過疎地域での地域活性化に取り  
組んでおりますので、そこで痛切に感じるのは、この社会を学ぶ上で問いを発  
する、あるいは課題をつかんでいくということが一番重要なのかなど。ある意  
味では、問いを発せられれば、それから先のことは、ほとんどが自分の努力に

よって解決をしていく。ただ、どうやって問いを発したり、課題をつかんでいくかということがとても重要である。今まではどちらかというところと正解を知るといふ学習が中心でしたが、特にこれからの時代はこの部分が一番重要になってくると思っております。課題を自分の中で認識しながら、それを解決させていく能力、そのようなことが支えられるような教科書を選択していきたいと思っております。

○中村委員 以前から社会科は暗記教科というような言われ方をずっとされてきたことがありますけれども、まさに今、一番問題解決的な学習が求められている教科であります。今、澁澤委員も言われたように、自ら問いをつくり、それで調べ、考え、まとめる。やはりその基になるのが資料でありますので、一連の流れに資する資料も充実している、このあたりの観点から教科書を選ばたいと思っております。

○鈴木委員 社会科は調べたり、考えたりする力を身につけさせ、社会とつながる子どもを育てる内容になっているか、持続可能な社会の実現に向けた内容を取り入れているかが大切だと考えています。

写真、イラスト、グラフなどの資料が見やすく掲載されているか。例えば歴史では、縄文時代から米作りの時代への生活の様子、移り変わりをイラストで分かりやすく対比させていたり、今まで白黒だった写真をカラーへと変更させることにより、より理解しやすくなっているようになっていました。興味を持たせ、個に応じた主体的学びを促している構成になっているかという点からも選びたいと考えています。

○坂倉委員 社会がなぜこのようになっていくのかということを理解する、社会の仕組みを理解するということは、実は大学生に教えるときにも非常に難しい課題なのだというふうに日々実感しています。それから、小学生にとって、政治とか地理というのがなぜ学ばなければいけないことなのか、そして、

私たちの暮らしがどのように成立しているのかというのをしっかり理解しているのは簡単なようで非常に難しいことだと思います。

ですので、やはり興味を持って、そこから問いを立てていろいろ考えていくという社会の入り口としてふさわしい教科書を選びたいと思いました。ポイントとしては、小学生から見たときの日常の暮らしの中から社会に興味を持っていくというきっかけがうまくできているかどうか、そして、子どもにとって、歴史と政治がなぜ同じ教科に入っているのか、すごく難しいと思うのです。そういったところもしつかり想像力を働かせて理解できるような教科書がよいのではないかというふうに考えて、選びました。

○渡部教育長 最後に、私からですが、社会科においては、よりよい社会を実現する主体となるために、問題解決を図り、多角的な思考力を養うことが重要です。どの教科書にもその点に関しては工夫がなされていました。

東京書籍では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のいずれかが單元の中に明記されており、現在の学習がどこに当たるのかが分かりやすくなっていました。

日本文教出版では、問題を掘り下げて考えられるよう、「深め合い」活動が設定されていました。

教育出版社では、社会科の学習を問題解決型の学習の進め方として分かりやすく見通しを示していることが特徴になっています。

社会的見方、考え方を働かせて、積極的に課題を解決する意欲を育めるものを選びたいと思っています。

それでは、これより社会に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、社会に関する教科用図書の採択について表

決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考  
える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 それでは、指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長朗読〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちく  
ださい。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 これから社会に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「新編 新しい社会」 一票

教育出版「小学社会」 四票

社会に関する教科用図書は、過半数に達した教育出版「小学社会」を採択す  
ることに決定いたしました。

続いて、地図に関する教科用図書について採択を行ってまいります。地図は  
二社ございます。

それでは、委員の皆様のご意見をお願いいたします。

○澁澤委員 両社ともとても工夫がなされていて、それこそ、かつて地図とい  
うのは地図帳という意味でしかなかったのですが、地図から多くのことを知っ  
たり、連想させていただく、現実社会と地球の構成、地域の構成というものが  
非常にうまく結びついたつくりになっていると思っております。

両社ともある意味ではほとんど差がなく、現行のものを私は推薦をしたいと

思っております。

○中村委員 地図の種類、それから資料の豊富さ、それによって児童・生徒の興味、関心を呼ぶようなものを基準に選ばせていただきました。

○鈴木委員 地図につきましては、発達段階に配慮されているかという点では、どちらの教科書もよく工夫されていると思います。

自然災害についてのところですが、東京書籍では、写真を用いてそのときの状況を見せるという方法を使っており、帝国書院では、イラストを使い、想像、考察をさせる手法と、どちらも防災について理解が深められるようになっておりました。調べ学習の資料として、全ての子どもたちが使いやすく、親しみやすくなっているかという点からも判断していきたいと思います。

○坂倉委員 いずれも身近なところから、地図的、地理的に物事を考えていく、その導入が非常に工夫されていて、甲乙つけがたいものだなと思いました。

地図の情報としてまとまっていて、そこから想像するというだけではなく、そこから自分で地図を作っていたり、アクションをしたり、それを通じて議論をし合ったり、そういった具体的なアクションにつながりやすいかどうかというポイントで拝見させていただきました。

○渡部教育長 最後に、私からですが、社会科において社会事象の見方、考え方を働かせて学ぶためには、位置や空間的な広がり、比較、分類したり、人々の生活と結びつけたりして考えることが必要であり、地図の役割は大変大きいものと考えています。そのために、地図は見やすく、子どもが扱いやすいことが重要です。三年生から使用することになるため、漢字の振り仮名、イラストの分かりやすさなど、二社ともに配慮が見られました。また、逆に六年生まで使用するために、高学年に必要な情報も量等が工夫されて掲載されています。今回の改訂では、地図の陰影に工夫がされており、統計に関しても、二社

ともに見やすくなっていました。

それでは、これより地図に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認め、地図に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 それでは、点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 これから地図に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」 五票

地図に関する教科用図書は、過半数に達した帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択することに決定いたしました。

それでは、ここで教科書の入替えをさせていただきます。お願いいたします。

続いて、外国語に関する教科用図書について採択を行ってまいります。外国語は六社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 今までも各社さん、よくつくられているということを書いてきましたが、提出された六社、全社それぞれ読ませていただきましたが、私は外国語の教科書ほど、本当に差異がなく、よくつくり込まれているなということを感じをさせていただきました。

そのような中で、やはり外国語が小学校で義務教育化されてきたことの一つとして、その入り口が、英語を学ぶというよりも、英語というツールを使って誰とでも簡単にコミュニケーションをできる、つまり、やり取りから中心に語学を学んでいくというようなものだというふうに痛感しておりますので、その意味では、やり取りですとか会話の入りやすさを最も重視した教科書を選ばせていただこうと思っております。

それから、特に外国語に関して、デジタルコンテンツがとても充実してきたなど感じております。今後、多分、小学校の義務教育における教育の大きな部分が、特に外国語に関しては、デジタルコンテンツをどう使っていくかということに比重がかかっていくのだろうなということも感じさせていただきましたので、一言述べさせていただきます。

○中村委員 小学校段階での英語嫌いが生まれないように、デジタルコンテンツも含めてですけれども、やはり児童の興味、関心を引くようになってきているかということ、それから、やはり単元の目標、学年ごとの目標、それぞれの単元の中でスモールステップで学習できるような構成になっている、そのあたりが優れている教科書を選びたいと思っております。

○鈴木委員 外国語については、ふだん使っている言語と異なっているということから、苦手意識を持たせないようにする工夫がなされているか、楽しさを実感しながら身につく構成になっているかを見ていきました。

それぞれの教科書では親しみやすいキャラクターが登場し、感情移入しやす

くなっています。また、ユニバーサルデザインに配慮したデザインやフォントに特別支援への配慮がなされておりました。この後の中学校英語へスムーズにつながるっていけるのか、自らできた、通じた、分かったという体験ができるかという観点からも選んでいきたいと思えます。

○坂倉委員 この教科に関しては、これらの中から一番ふさわしいものを選ぶというのは非常に難しい選考だったのですけれども、現行の授業の継続性も配慮しつつ、従来型の英語を教えるという教科書というよりも、英語を使いこなしながらコミュニケーションを試してみる、そのガイドとして一番使いやすい教科書を選考するようにいたしました。

○渡部教育長 外国語の学習では、気持ちや考えを伝え合うことの楽しさを知り、多様な考えや価値観があることを知り、臆することなくほかと関わろうとする意欲を育むことが重要です。小学校では、英語を専門的に学んでいない担任が授業を行うため、狙いを理解しやすく、また、評価しやすいことも重要になります。小学校では、読もう、書こうとする姿勢を養って、中学校英語へつなげていくということも重要だと考えています。

外国語では、会話の部分が分かりやすく掲載されているものや、補足の情報が分かりやすく掲載されているもの、また、振り返りシートがあるものなど、出版社によって様々な工夫が見られました。学ぶ楽しさを実感しながら、意欲的に学べるものを選びたいと思えます。

御意見をお聞きしたので、外国語に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○渡部教育長 御異議なしと認め、外国語に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考

える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 それでは、指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長朗読〕

○渡部教育長 投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 お待たせいたしました。これから英語に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「NEW HORIZON Elementary English Course」一票

光村図書出版「Here We Go!」四票

英語に関する教科用図書は、過半数に達した光村図書出版の「Here We Go!」を採択することに決定いたしました。

それでは、ここで教科書の入替えをさせていただきます。入替えをお願いします。

続いて、理科に関する教科用図書について採択を行ってまいります。理科は六社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 六社拝見させていただきました。理科に関しては、私の個人的な感想としては、東京書籍と大日本図書の二社がとてつくり込みが丁寧で、考えたものがつくられているというふうに思わせていただきました。

その中で、どちらも非常に特徴的なのですが、どう自分たちの実生活につな

がるかということ。もう一つ、ある意味では、子どもたちの一番の課題、子どもたちだけではなくて私たち人類の課題というのは、これから地球とどう共存していけるか、そこに対してどう取り組んでいけるか、そのことが重要な視点になってくる、地球的なものの考え方も同時に必要とされるのだろうなと思っております。私は、その視点から選ばせていただこうと思っております。

○中村委員 理科もやはり一連の流れがございまして、問題を発見し、それで予想し、観察、実験、それから結果を考察し、結論をまとめるという一連の流れが明確なもの、それから、以前、特に小学校の先生から実験についての悩みをよく伺ったこともありました。やはり先生たちが実験をしやすいような構成になっているあたりもポイントと考えております。

○鈴木委員 理科では、写真やイラストの使い方によって子どもの興味、関心の度合いが変わってくると思いますので、そのあたり、各社どのように構成されているかを見ていきました。

大日本図書では、キャラクターによる学習のサポート、学校図書では、学年を追うごとに「理科モンスター」が進化していく構成は、両社とも子どもの学習意欲をかき立て、理科の力を身につけさせるのに有効だと思いました。

子どもが自宅学習をしやすいか、また、理科では実験を伴いますので、安全面で配慮がされているかという点も判断基準としていきたいと考えております。

○坂倉委員 それぞれ非常に工夫がされていましたが、特にとても素晴らしいな、必要なことだなと思ったところが、社会を構成している技術に、理科で学ぶということがどういうふうにつながっているのかということを理解したり、興味を持ったりするということ、それから、いろいろ調べて、そこから法則を見つけていくような楽しさをどういうふうに教室の中でつくっていくのか、こういういったところがすごく重要だなと考えました。

これは言うのはすごく簡単なのですけれども、教える側というよりも、児童の側から見て、それがこなれているというか、すぐ取り組みやすくつくられているかどうかというのは微妙な観点だと思うのですけれども、非常に重要だと思ひまして、そういった点で優れた教科書を選びたいと思ひます。

○渡部教育長 最後に私からですが、世田谷区では、全教科において探究的な学びを取り入れています。せたがや探究的な学びは、自ら課題を見つけて、協働的に学びながら解決を目指し、振り返り、次につなげるということを狙っています。自分で仮説を立てて計画し、結果から考察するものや、身近なものを題材にして学べるようにするなど、理科のどの教科書も探究的な学習への転換のための試みがありました。課題を持ち、予想や仮説を立てて実験し、結果や分かったこととしてまとめ、そこで終わりではなく、次の問いを持つように工夫するなど、実験や思考の結果から次の課題へ結びつけて考えることが科学的思考を伸ばすポイントになります。子どもたちが主体的に関わり、科学的に探求する力を養えるものを選びたいと思ひます。

それでは、これより理科に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思ひますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認め、理科に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考へる教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 それでは、指名点呼に従って投票していただきます。

まず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長朗読〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 これから理科に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「新編 新しい理科」 一票

大日本図書「新版 たのしい理科」 四票

理科に関する教科用図書は、過半数に達した大日本図書「新版 たのしい理科」を採択することに決定いたしました。

それでは、ここで教科書の入替えをさせていただきます。入替えをお願いします。

続いて、音楽に関する教科用図書について採択を行ってまいります。音楽は二社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 二社ともよく考えられているつくりになっております。若手の教員向けか、あるいは、ある程度熟練された教員の方向向けか、その辺も若干差があるのかなと思っておりました。ただ、やはり音楽というのは、単なる自分がどれだけ物をうまく表現できるか、うまく楽器を使えるかということも確かに重要ですが、それ以上に、学校という場においては、共に学んで共に音を重ねながら、歌を重ねながら新たなものを仲間と一緒につくっていく、そのような領域もとても重要なのかと思っております。そのような視点で決めさせていただこうと思っております。

○中村委員 やはり音楽は表現する教科ですので、曲の背景とか作者の心情なども踏まえて、そういったことを考慮しながら表現活動に資するような構成に

なっているかどうか。それから、音楽は常にどんどん進化していますので、新しいものをどの程度取り入れているか、そのあたりを観点にして選んでみたいと思っております。

○鈴木委員 音楽については、どちらの教科書も児童が音楽に興味を持ち、楽しく学べるように工夫されていると感じました。歌詞の内容を美しいビジュアルで表現し、子どもたちの想像する力をつけさせる構成になっていると思います。

リコーダーの学習については、音の出し方や指の使い方、使用後のメンテナンスなど理解しやすくなっているか、楽器に対し苦手意識を持たせないように工夫されているかについて着目しました。

音楽の授業は、協調性や社会性を育むだけではなく、歌詞の意味を考えることは国語につながることであり、作詞家や作曲家を学ぶことは、その人の生きている時代背景を知ることになり、これは社会の授業へつながります。また、洋楽の歌詞は英語や外国に興味を持つことになるなど、様々な教科への取っかかりにもなります。児童が楽しく学びながら、ほかの教科への学びにもつながっているかという点も加味しながら判断していきたいと考えております。

○坂倉委員 音楽ですけれども、実際に演奏する、歌うという技術的な側面、それから、芸術的な表現の側面、そのバランスが非常に難しいと思いますし、ましてや、それに加えて、その知識とか理論、情報量をどのようにするか、その程よさをどういうふうにつくるかというのは非常に難しいポイントだと思います。加えて、授業の中で使っていくときには、協同性といえますか、一緒に演奏することや演奏した後はどういうふうにそれをみんなで話し合うか、そういったところも踏まえて総合的に判断して、選考したいと思います。

○渡部教育長 最後に私からですが、音楽では、多様性に触れながら、音や響きの美しさを味わい、感性を豊かに育むことが大切です。音を重ね合わせた

り、友達とリズムをつくったり、協同的に学ぶ学習が掲載されていることを重視しました。また、一年間の学習の流れが分かりやすく表示され、子どもたちが学習の見通しを持って学べることも着目しました。三年生からリーダーの学習を始めるので、導入部分としての使い方が子どもにとっても見やすく、分かりやすく、子どもが意欲を持って学べることも考え合わせて選択したいと思います。

それでは、これより音楽に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認め、音楽に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りしますので、各委員は採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○渡部教育長 指名点呼に従って投票していただきます。  
それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○渡部教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○渡部教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○渡部教育長 これから音楽に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

教育芸術社「小学生の音楽」 五票

音楽に関する教科用図書は、過半数に達した教育芸術社「小学生の音楽」を

採択することに決定いたしました。

本日一日目の採択につきましては以上といたします。

なお、議事の採択第一号について、残る生活、国語・書写、「特別の教科道徳」、図画工作、算数の五教科六種類を明日七月二十五日火曜日に開催する本定例会の二日目において採択することといたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○渡部教育長 御異議なしと認め、議事の採択第一号の残りは、七月二十五日火曜日に開催する第十三回教育委員会定例会の二日目において採択することといたします。

それでは、次第の4、報告事項の聴取に入ります。

(1)区立幼稚園の集約化に向けた区立桜丘幼稚園の改修工事に伴う一時移転について、本件に関して、本田乳幼児教育・保育支援課長より説明をお願いします。

○本田乳幼児教育・保育支援課長 私からは、区立幼稚園の集約化に向けた区立桜丘幼稚園の改修工事に伴う一時移転について御説明をいたします。

一ページ目を御覧ください。1主旨でございます。昨年八月に策定した区立幼稚園集約化等計画では、現在八園ある区立幼稚園を区内五地域の拠点として各地域一園に集約化するのと軌を一にして、三年保育の導入や、要配慮児・医療的ケア児への対応の強化等の機能充実を図ることを定めました。これに基づき、令和八年度以降に集約化を予定している区立桜丘幼稚園と区立松丘幼稚園につきましては、集約化に合わせて、機能充実に向けて、区立桜丘幼稚園の改修工事を行い、その際に園児等の安全の確保、工事の円滑な実施のため、区立桜丘幼稚園を区立松丘幼稚園に一時移転することといたします。

続きまして、2、集約化に向けた改修工事等に伴う区立桜丘幼稚園の区立松

丘幼稚園への一時移転でございます。集約化等計画に基づき、令和八年度以降に集約化を予定している区立桜丘幼稚園につきましては、集約化に伴う要配慮児や医療的ケア児への対応強化や三年保育の導入に向けて、令和七年度以降に集約先となる桜丘幼稚園の改修工事を行います。なお、工事の内容や規模については、今年度夏に長寿命化調査を実施の上、決定をいたします。改修工事等に当たりましては、居ながら工事や仮園舎の建築、近隣の閉園した幼稚園、保育所等の仮園舎としての活用なども視野に入れ検討した結果、園児等の安全及び教育、保育の質の確保並びに工事の円滑な実施といった観点から、桜丘幼稚園の機能を松丘幼稚園に一時移転し、合同で教育、保育を実施したいと考えております。

続きまして、(1)移転の期間でございますけれども、令和七年四月から令和八年三月を予定しておりますが、長寿命化調査の結果等によっては、期間の変動の可能性がございます。

二ページ目にお進みください。(2)移転元・移転先の現状につきましては、記載のとおりでございます。

(3)周知・募集についても記載のとおりでございますが、なお、改修工事に伴う桜丘幼稚園の一時移転先である松丘幼稚園の保育室は四室であるため、桜丘・松丘両園のそれぞれの令和六年度、令和七年度の新規入園児募集は、それぞれ一つクラスずつとなります。また、令和八年度の新入園児募集につきましては、集約化に伴う三年保育の導入を見据え、三歳児クラスと四歳児クラスの募集をいたします。

(4)区立桜丘幼稚園の改修工事等の想定は、あくまで現時点での想定であり、長寿命化調査の結果等によって変わる可能性もございますけれども、要配慮児・医療的ケア児への対応のためのバリアフリー化工事や、三歳児保育の導入に伴う水回りの高さ調節のための改修工事、集約化に伴う職員増による職員室

等の改修工事などがございます。

続きまして、(5)その他でございます。①について、区立桜丘幼稚園の区立松丘幼稚園への一時移転に伴い、条例、規則等の改正を行います。②につきまして、桜丘幼稚園が松丘幼稚園に一時移転している間は、一施設内に二つの園が合同して教育、保育を実施している状態となりますので、両園で検討、調整して、共通のカリキュラムを作成し、合同で教育・保育活動、行事等を行います。また、園児及び保護者には丁寧な説明を行うとともに、幼稚園修了式等の行事の際に、両幼稚園に対して十分な配慮をいたしたいと考えております。

三ページ目にお進みください。③桜丘幼稚園の改修工事等の内容、期間は、令和五年度夏に実施する長寿命化調査等の結果に基づき決定をいたします。これらを踏まえ、改修工事等に必要予算について、令和六年度及び令和七年度予算に計上する予定でございます。なお、④に記載しておりますが、集約化後の松丘幼稚園の跡地につきましては、区立弦巻保育園と区立西弦巻保育園の移転・統合先として活用される予定でございます。

(6)改修工事等に伴う一時移転・集約化についてのイメージ図を載せております。こちらは改修工事に伴う一時移転から集約化の流れについて、イメージ図としてお示ししたものでございます。

(7)今後のスケジュールについては、三ページ目から四ページ目にかけて記載のとおりでございます。

区立幼稚園の集約化に向けた区立桜丘幼稚園の改修工事等に伴う一時移転について、私からの説明は以上でございます。

○渡部教育長 ただいまの説明に対して、御質問、御意見がございましたら、どうぞ。

よろしいですか。

「「なし」の声あり」

○渡部教育長 (2)その他の連絡事項等はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○渡部教育長 第十三回教育委員会定例会の二日目は、明日、七月二十五日火曜日午前十時から庁議室において開催いたします。

これをもちまして令和五年第十三回世田谷区教育委員会定例会の一日目を閉会いたします。

午前十一時十三分閉会